
平成25年度 中間決算の概要(9月期)

地方公共団体金融機構

平成25年度中間決算(9月期)のポイント

- ◆ 経常利益は983億円で、前年同期比117億円減。
中間純利益は131億円で、前年同期比24億円増。
- ◆ 資産総額は貸付金等23兆7,049億円で、前年度比0.4億円増。
負債総額は債券等23兆5,774億円で、前年度比139億円減。
純資産総額は出資金等1,274億円で、前年度比139億円増。
- ◆ 地方公共団体健全化基金は9,210億円で、前年度比15億円減。
金利変動準備金は1兆3,200億円で、前年度比2,200億円増。
公庫債権金利変動準備金は1兆9,917億円で、前年度比7,795億円減。
- ◆ 会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

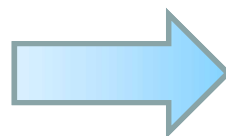
利益の状況 [機構全体]

- ◆ 平成25年度上半期の**経常利益は983億円**で、平成24年度上半期より117億円減少。
- ◆ 経常費用が債券利息の減少等により17億円減少した一方、経常収益が貸付金利息の減少等により133億円減少したことが要因。
- ◆ 公庫債権金利変動準備金繰入額(特別損失)が146億円減少したこと等もあり、**中間純利益は131億円**で、平成24年度上半期より24億円増加。

【平成24年度中間決算】

経常収益	2,466億円
貸付金利息	2,448億円
余資運用益	3億円
その他の	15億円
経常費用	1,366億円
債券利息	1,320億円
その他の	46億円
経常利益	1,100億円
特別利益	5,758億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	5,700億円
利差補てん積立金取崩額	58億円
特別損失	6,751億円
金利変動準備金繰入額	2,200億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	1,051億円
国庫納付金	3,500億円
中間純利益	107億円

経常利益は
117億円減少



中間純利益は
24億円増加

【平成25年度中間決算】

経常収益	2,333億円
貸付金利息	2,313億円
余資運用益	2億円
その他の	17億円
経常費用	1,349億円
債券利息	1,296億円
その他の	53億円
経常利益	983億円
特別利益	8,752億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	8,700億円
利差補てん積立金取崩額	52億円
特別損失	9,605億円
金利変動準備金繰入額	2,200億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	905億円
国庫納付金	6,500億円
中間純利益	131億円

(増減)

(▲133億円)
 (▲135億円)
 (▲1億円)
 (2億円)
 (▲17億円)
 (▲24億円)
 (7億円)
 (▲117億円)
 (2,994億円)
 (3,000億円)
 (▲6億円)
 (2,854億円)
 (—)
 (▲146億円)
 (3,000億円)
 (24億円)

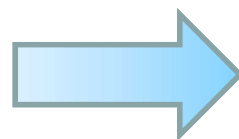
利益の状況 [一般勘定]

- ◆ 平成25年度上半期の**経常利益及び中間純利益は131億円**で、平成24年度上半期より30億円増加。
- ◆ 貸付金利息は88億円増加。一方、債券利息等は60億円の増加に止まり、28億円の増益要因となった。
- ◆ このほかに、基金関連の勘定間取引などで、1億円の増益要因が生じた。

【平成24年度中間決算】

経常収益	489億円
貸付金利息	430億円
余資運用益	3億円
金利スワップ受入利息	3億円
健全化基金受入額	5億円
健全化基金受取利息	37億円
その他	8億円
経常費用	387億円
債券利息	286億円
借入金利息	0億円
金利スワップ支払利息	1億円
その他業務費用	16億円
営業経費	12億円
基金管理勘定繰出金	68億円
その他	1億円
経常利益	101億円
特別利益	2,200億円
管理勘定繰入金	2,200億円
特別損失	2,200億円
金利変動準備金繰入額	2,200億円
中間純利益	101億円

経常利益は
30億円増加



中間純利益も
30億円増加

【平成25年度中間決算】

経常収益	574億円	(85億円)
貸付金利息	518億円	(88億円)
余資運用益	2億円	(▲1億円)
金利スワップ受入利息	1億円	(▲2億円)
健全化基金受入額	14億円	(9億円)
健全化基金受取利息	30億円	(▲7億円)
その他	6億円	(▲2億円)
経常費用	443億円	(56億円)
債券利息	346億円	(60億円)
借入金利息	1億円	(1億円)
金利スワップ支払利息	3億円	(2億円)
その他業務費用	15億円	(▲1億円)
営業経費	12億円	(▲0億円)
基金管理勘定繰出金	61億円	(▲7億円)
その他	2億円	(1億円)
経常利益	131億円	(30億円)
特別利益	2,200億円	(-)
管理勘定繰入金	2,200億円	(-)
特別損失	2,200億円	(-)
金利変動準備金繰入額	2,200億円	(-)
中間純利益	131億円	(30億円)

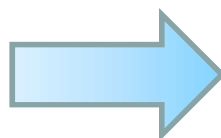
利益の状況 [管理勘定]

- ◆ 平成25年度上半期の**経常利益は852億円**で、平成24年度上半期より146億円減少。
- ◆ 債券利息は83億円減少。一方、貸付金利息は223億円の減少となり、140億円の減益要因となった。
- ◆ このほかに、債券発行額の増加に伴う発行手数料の増加などで、7億円の減益要因が生じた。
- ◆ 特別損益としては、利差補てん積立金取崩額(特別利益)が6億円の減少となり、同額の減益要因となったほか、公庫債権金利変動準備金繰入額(特別損失)が146億円の減少となり、同額の増益要因となった。
- ◆ 公庫債権金利変動準備金繰入額(特別損失)の計上を利益の範囲内で行った結果、平成25年度上半期の**中間純利益はゼロ**となった。

【平成24年度中間決算】

経常収益	2,089億円
貸付金利息	2,017億円
基金一般勘定繰入金	68億円
その他	3億円
経常費用	1,090億円
債券利息	1,033億円
健全化基金支払利息	37億円
その他	19億円
経常利益	998億円
特別利益	5,758億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	5,700億円
利差補てん積立金取崩額	58億円
特別損失	6,751億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	1,051億円
一般勘定繰出金	2,200億円
国庫納付金	3,500億円
中間純利益	5億円

経常利益は
146億円減少



中間純利益は皆減

【平成25年度中間決算】

経常収益	1,858億円	(▲231億円)
貸付金利息	1,794億円	(▲223億円)
基金一般勘定繰入金	61億円	(▲7億円)
その他	1億円	(▲2億円)
経常費用	1,005億円	(▲85億円)
債券利息	950億円	(▲83億円)
健全化基金支払利息	30億円	(▲7億円)
その他	25億円	(6億円)
経常利益	852億円	(▲146億円)
特別利益	8,752億円	(2,994億円)
公庫債権金利変動準備金取崩額	8,700億円	(3,000億円)
利差補てん積立金取崩額	52億円	(▲6億円)
特別損失	9,605億円	(2,854億円)
公庫債権金利変動準備金繰入額	905億円	(▲146億円)
一般勘定繰出金	2,200億円	(-)
国庫納付金	6,500億円	(3,000億円)
中間純利益	一億円	(皆減)

(増減)

資産の状況

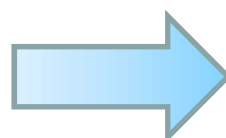
- ◆ 平成25年度9月末現在の**資産総額は23兆7,049億円**で、平成24年度末現在より0.4億円増加。
- ◆ 有価証券・現金預け金の合計額が871億円減少したものの、貸付金が889億円増加したこと等が要因。

【平成25年3月31日現在】

貸付金	22兆6,686億円
有価証券	5,989億円
現金預け金	4,192億円
その他資産	141億円
有形固定資産	29億円
無形固定資産	8億円
合計 23兆7,049億円	

【平成25年9月30日現在】

貸付金	22兆7,575億円	(889億円)
有価証券	7,449億円	(1,460億円)
現金預け金	1,861億円	(▲2,331億円)
その他資産	128億円	(▲13億円)
有形固定資産	25億円	(▲4億円)
無形固定資産	8億円	(▲0億円)
合計 23兆7,049億円		(0.4億円)



資産総額は
0.4億円増加

(増減)

※ 有価証券・現金預け金の合計 1兆182億円

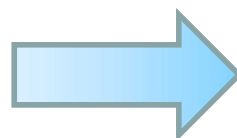
※ 有価証券・現金預け金の合計 9,311億円 (▲871億円)

負債の状況

- ◆ 平成25年度9月末現在の**負債総額は23兆5,774億円**で、平成24年度末現在より139億円減少。
- ◆ 負債の大半を占める債券は当期発行額が償還額を上回ったこと等により、金利変動準備金は年次繰入により、それぞれ5,200億円、2,200億円増加した一方で、公庫債権金利変動準備金が借換益等905億円を積み立てたものの、2,200億円の年次繰入及び6,500億円の国庫納付により7,795億円減少したこと等が要因。

【平成25年3月31日現在】

債	券	18兆6,764億円									
借	入	金	300億円								
地	方	公	共	団	体	健	全	化	基	金	9,225億円
金	利	変	動	準	備	金	1兆1,000億円				
公	庫	債	権	金	利	変	動	準	備	金	2兆7,712億円
利	差	補	て	ん	積	立	金	758億円			
そ	の	他	153億円								
合計		23兆5,913億円									



負債総額は
139億円減少

【平成25年9月30日現在】

債	券	19兆1,964億円	(増減)	(5,200億円)								
借	入	金	645億円	(345億円)								
地	方	公	共	団	体	健	全	化	基	金	9,210億円	(▲15億円)
金	利	変	動	準	備	金	1兆3,200億円	(2,200億円)				
公	庫	債	権	金	利	変	動	準	備	金	1兆9,917億円	(▲7,795億円)
利	差	補	て	ん	積	立	金	705億円	(▲53億円)			
そ	の	他	130億円	(▲23億円)								
合計		23兆5,774億円	(▲139億円)									

純資産の状況

- ◆ 平成25年度9月末現在の**純資産総額は1,274億円**で、平成24年度末現在より139億円増加。
- ◆ 平成25年度中間決算における一般勘定の中間純利益131億円を中間未処分利益として計上したほか、金利スワップ取引に係る評価損益(期中解約分3億円、現存スワップ時価評価分4億円)等である繰延ヘッジ損益が8億円増加したことが要因。

【平成25年3月31日現在】

地方公共団体出資金	166億円
一般勘定積立金	502億円
一般勘定中間未処分利益	－億円
管理勘定利益積立金	536億円
繰延ヘッジ損益	▲69億円
{ うち金利スワップ期中解約分 ▲14億円 現存スワップ時価評価分 2億円 }	

合計 **1,135億円**



【平成25年9月30日現在】

地方公共団体出資金	166億円	(－)
一般勘定積立金	502億円	(－)
一般勘定中間未処分利益	131億円	(皆増)
管理勘定利益積立金	536億円	(－)
管理勘定中間未処分利益	－億円	(－)
繰延ヘッジ損益	▲61億円	(8億円)
{ うち金利スワップ期中解約分 3億円 現存スワップ時価評価分 4億円 }		

合計 **1,274億円**

(139億円)

純資産総額は
139億円増加

(参考)平成25年度9月期決算における主要勘定の状況 (単位:億円)

【貸付金】

前 期 末 高 ①	貸付額 ②	回収額 ③	期 末 残 高 ①+②-③
226,686	10,172	9,283	227,575

【債券】

前 期 末 高 ①	発行額 ②	償還額等 ③	期 末 残 高 ①+②-③
186,764	15,553	10,352	191,964

【地方公共団体健全化基金】

前 期 末 高 ①	納付金等 ②	基 運 用 益 ③	利下げ補てん 所 要 額 ④	期 末 残 高 ①+②+③-④
9,225	—	78	93	9,210

【利差補てん積立金】

前 期 末 高 ①	取 崩 額 ②	期 末 残 高 ①-②
758	52	705

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前 期 末 残 高 ①	年 次 繰 入 ②	国 庫 納 付 ③	公庫貸付に係る 利下げ所要額 ④	公 営 企 業 債 券 借 換 益 ⑤	期 末 残 高 ①+②+③+④+⑤
金利変動準備金	11,000	2,200	—	—	—	13,200
公庫債権金利変動準備金	27,712	▲2,200	▲6,500	61	843	19,917